

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成30年12月20日(2018.12.20)

【公開番号】特開2017-106988(P2017-106988A)
 【公開日】平成29年6月15日(2017.6.15)
 【年通号数】公開・登録公報2017-022
 【出願番号】特願2015-238911(P2015-238911)
 【国際特許分類】

G 1 0 L 13/00 (2006.01)

G 1 0 L 13/10 (2013.01)

G 1 0 L 15/22 (2006.01)

G 0 6 F 3/16 (2006.01)

【 F I 】

G 1 0 L 13/00 1 0 0 M

G 1 0 L 13/10 1 1 1 D

G 1 0 L 15/22 3 0 0 Z

G 0 6 F 3/16 5 3 0

G 0 6 F 3/16 6 6 0

G 0 6 F 3/16 6 7 0

G 0 6 F 3/16 6 9 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発話音声に対する応答音声を再生する音声対話を実行する方法であって、
 過去における、音声対話の回数、音声対話の利用頻度、音声対話の使用期間、または最
 後の音声対話からの経過時間、に応じた韻律の応答音声を再生装置に再生させる
 コンピュータにより実現される音声対話方法。

【請求項2】

前記応答音声の韻律は、前記発話音声と前記応答音声との間隔である待機時間である
 請求項1の音声対話方法。

【請求項3】

発話音声に対する応答音声を再生する音声対話を実行する装置であって、
 過去における、音声対話の回数、音声対話の利用頻度、音声対話の使用期間、または最
 後の音声対話からの経過時間、に応じた韻律の応答音声を再生装置に再生させる応答生成
 部

を具備する音声対話装置。

【請求項4】

発話音声に対する応答音声を再生する音声対話のためのプログラムであって、
 コンピュータを、
 過去における、音声対話の回数、音声対話の利用頻度、音声対話の使用期間、または最
 後の音声対話からの経過時間、に応じた韻律の応答音声を再生装置に再生させる応答生成
 部

として機能させるプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】音声対話方法、音声対話装置およびプログラム